

証券コード：6258

第71期第2四半期 Hirata Report

2021年4月1日～2021年9月30日



Hirata

平田機工株式会社

TOP MESSAGE

トップメッセージ

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。第71期第2四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年9月30日）の事業概況を以下のとおり、ご報告させていただきます。

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経済情勢は、新型コロナウイルスのワクチン普及により、先進国では経済活動の正常化が進んだものの、新興国ではワクチン普及が遅れ、活動制限による経済の停滞が続きました。また、世界的な半導体不足の影響が深刻化しており、景気の先行きは、依然として不透明な状況が続いております。米国では、政府による経済対策やワクチン接種を背景に個人消費が増加し、設備投資も堅調に推移したものの、半導体を中心とした供給制約により製造業の回復は鈍化しました。欧州では、ワクチン普及による活動制限の緩和で個人消費が回復し、製造業の設備投資も拡大傾向となりました。中国では、輸出が拡大し、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が回復したものの、半導体不足により自動車の生産・販売は落ち込みました。国内では、海外経済の回復に伴う輸出の増加を背景に景況感が改善し、先送りしていた設備投資を再開する動きが見られました。一方、コロナ禍で活動制限の緩和と強化が繰り返される中、個人消費は伸び悩みました。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましては、在宅勤務やWEB会議システムなどの活用に加え、国内ではワクチンの職域接種を実施するなど、新型コロナウイルスの感染拡大防止策を講じながら、海外子会社と連携し、現地調達・現地生産の推進、内製化の拡大など、グローバルな受注の拡大やコスト競争力の強化に取り組んでまいりましたが、輸送費や原材料の高騰もあり、営業利益は前年同期を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は325億88百万円（前年同期は328億円）となり、営業利益は25億27百万円（前年同期は27億41百万円）、経常利益は28億10百万円（前年同期は28億41百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億83百万円（前年同期は17億81百万円）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。これに伴い、当第2四半期連結累計期間における売上高は、従来の会計処理方法に比べて増加しております。そのため、当第2四半期連結累計期間における売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益については前年同期比（%）を記載しておりませんが、この点ご了承願います。

代表取締役社長 平田 雄一郎

通期業績の見込みについて

2022年3月期の見通しにつきましては、次世代車向け設備投資の拡大や活況な半導体市場の牽引により、売上高は前年の水準を上回ると予想しておりますが、利益については前年の水準を下回ると予想しております。このような状況のもと、当社グループにおきましては、グローバルな受注の拡大やコスト競争力の強化に向けて、海外子会社と連携し、現地調達、現地生産比率を高め、事業拡大に注力してまいります。また、生産リソースの最適な配分や、内製化率の拡大を推進するなど、生産体制の強化を図り、収益性の向上にも努めてまいります。

2022年3月期の連結業績予想につきましては、売上高670億円、営業利益35億円、経常利益37億円、親会社株主に帰属する当期純利益26億円を見込んでおります。

なお、2022年3月期の1株当たりの期末配当は、配当政策に基づき、業績予想に基づく利益水準と前期の配当性向などを勘案の上、55円を予定しております。

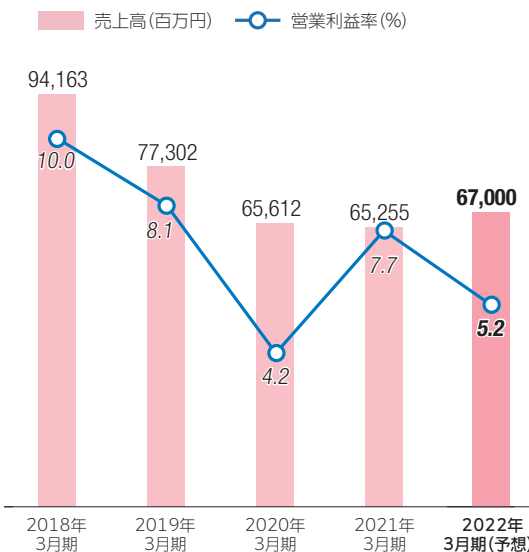
株主・投資家の皆さまにおかれましては、一層のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

■ 2022年3月期 第2四半期連結累計実績と通期連結業績予想

項目	第2四半期 連結累計実績	通期連結業績予想
売上高	325億円	670億円
営業利益	25億円	35億円
経常利益	28億円	37億円
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	19億円	26億円
1株当たり四半期 (当期)純利益	191.09円	250.50円
1株当たり配当金	0.00円	55.00円

※2022年3月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。

■ 売上高・営業利益率推移



大型受注

電気自動車関連設備の大型案件を受注

当社は新たな顧客より、電気自動車関連設備の大型の生産設備を受注いたしました。顧客は北米の新興EVメーカーで、初めての取引先です。受注金額は、当社および北米の子会社との合計で約40億円となります。受注した設備は、EV用ドライブユニットの組立ラインで、既に設計フェーズに入っており、収益認識基準により設備の完成まで順次売上を計上いたします。

製品紹介I

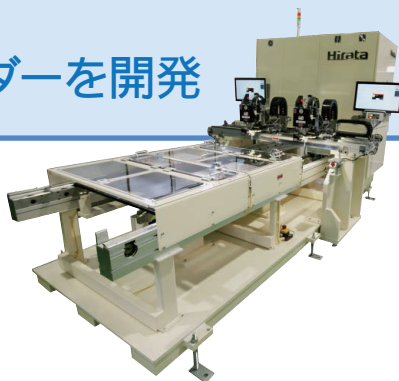
EV分野の領域拡大へ

電気自動車用Dual Headワイヤーボンダーを開発

製品概要

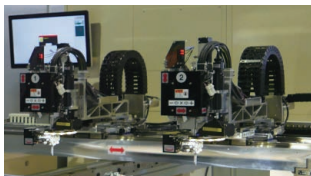
電気自動車(EV)などで使用されるバッテリー(セル)に搭載された電池の電極間を金属線でつなぐ、ワイヤーボンディングの工程で用いる設備です。世界最大級であり、大型バッテリーモジュールに対応可能となっています。

Dual Headの名前の通り、ボンディングヘッドを2つ設置。これにより、ボンディングヘッドが1つであった既存の設備よりも、処理能力が2倍となりました。当社の長年の設備メーカーとしての技術と経験を盛り込み、お客さまに満足していただける製品となりました。



特長1 2つのボンディングヘッド

従来は、安定性確保のためボンディングヘッドは1つでしたが、このDual Headワイヤーボンダーでは、ボンディングヘッドを支える支柱を門型にしたことで、剛性が増し、ボンディングヘッドを2つ設置することを可能としました。バッテリーが大型になればなるほど、各工程のサイクルタイムの短縮が課題となっており、それに応えることができませんでした。また、片方が故障した際のバックアップ運転も可能です。



左右2つのボンディングヘッド



電池の電極間にワイヤーをボンディングする様子(ズーム撮影)

特長2 待機位置をエリア外へ

ボンディングヘッドの待機位置を作業エリア外に設定することで、現場作業者は安全かつ安定した姿勢でボンディング部分へアクセスできるため、メンテナンス性が向上しました。また、トラブル発生時の修理作業などもスムーズに行えます。



高いメンテナンス性



バッテリーが大型の場合もアクセスしやすい

社会貢献

ワクチン職域接種を実施

6月下旬から始まった当社熊本本社工場での新型コロナワクチン職域接種が、8月上旬に終了しました。ワクチン接種を希望する役員・従業員、関係会社や協力会社、ご家族などトータル5,000名以上の方の接種対応を行いました。厳密な温度管理によるワクチンの保管管理、オンラインでの予約システム導入などによりスムーズに運営することができました。この職域接種にとどまらず、引き続き感染予防対策を進め、安心して働ける・過ごせる環境づくりに尽力してまいります。



製品紹介Ⅱ

人と機械の協働システム

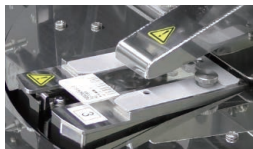
病理組織標本作製装置 EZ-PATH FLOATを開発

製品概要

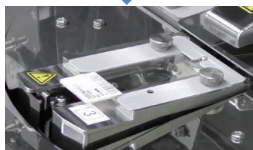
EZ-PATH FLOATは、人に優しく、簡単に、正確な位置に、再現性よく検体の切片をスライドガラスに貼り付けることができる、人と機械の協働システムです。



ポイント1 撥水性と親水性



1. 超撥水の特性を用いた切片ガイドでスライドガラスの切片載置部に囲いを作り、そこに水を溜める。

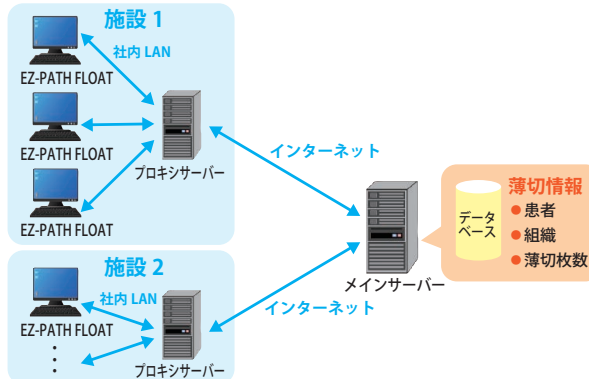


2. これに切片を浮かべると表面張力で中央に引き寄せられる。



3. この状態で傾斜させながら吸引ノズルで水を抜くと、再現よく同じ位置に貼り付けが可能。

ポイント2 薄切作業のマネジメントシステム管理

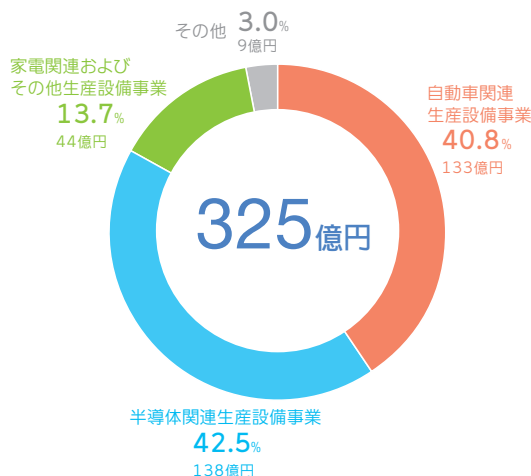


○医療機関のサーバーから患者情報を直接取得し、病理標本を作製するシステムを構築。

○二次元コード読み取りにより、サーバー内の患者情報をPC画面に表示させ、技師が作業を行うことが可能。

○技師の作業の安全性や正確さに有効。

当第2四半期売上高内訳 (2021年4月1日～2021年9月30日)



2020年9月期

2021年9月期

売上高

328 億円

325 億円

受注高

310 億円

418 億円

受注残高

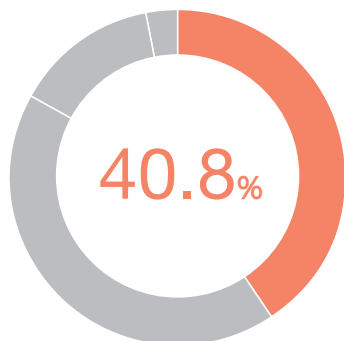
336 億円

359 億円

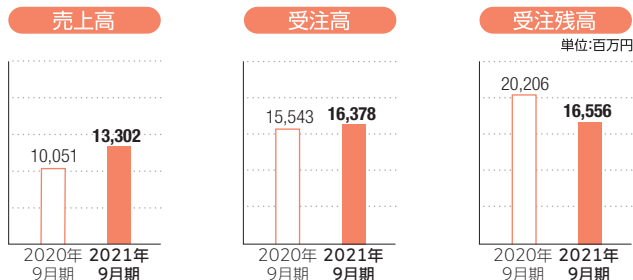
当第2四半期の売上高の事業部門別構成比は、自動車関連が133億円で全体の40.8%、半導体関連が138億円で42.5%、家電関連およびその他が44億円で13.7%となっております。電気自動車 (EV) などの次世代車への設備投資が旺盛だったことから自動車関連の売上高は堅調に推移したものの、半導体関連については有機EL関連の売上高が高く推移していた前年同期の水準と比べ減少し、売上高は横ばいとなりました。一方、受注高は、半導体関連を中心に大幅増となりました。

自動車関連生産設備事業

電気自動車 (EV) やエンジン、トランスミッションなどの自動車の駆動系主要部品をはじめ、制御用電子機器、車載用電子部品などの組立設備の製造・販売



売上高 133 億円

対前年同期比
増減率

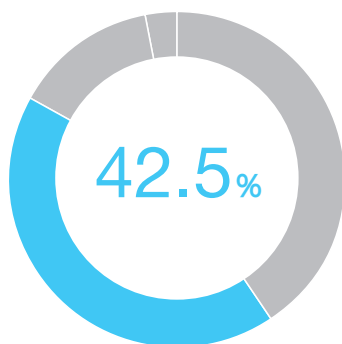
当第2四半期実績

自動車関連生産設備事業は、グローバルなカーボンニュートラルに向けた取り組みを背景に、電気自動車 (EV) などの次世代車への設備投資が旺盛だったことで、売上高は堅調に推移しました。この結果、売上高は133億2百万円 (前年同期は100億51百万円) となりました。

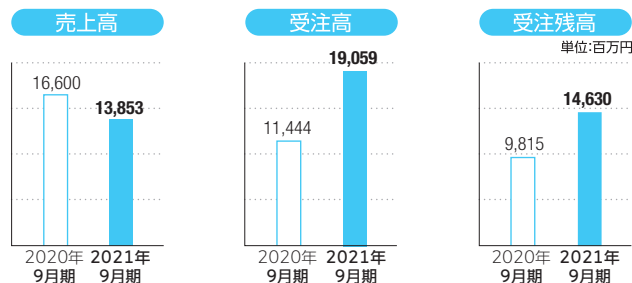
※「収益認識に関する会計基準」等の適用により、対前年同期比増減率は記載しておりません。

半導体関連生産設備事業

ロードポート、ウェーハ搬送ロボットなどの半導体関連生産設備、有機EL関連生産設備、FPD関連生産設備などの製造・販売



売上高 **138** 億円 対前年同期比 増減率 —



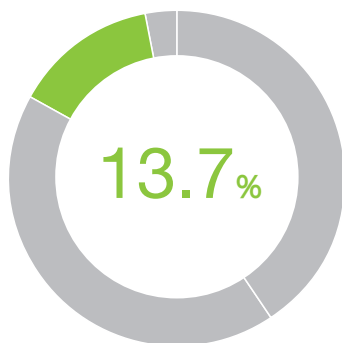
※「収益認識に関する会計基準」等の適用により、対前年同期比増減率は記載しておりません。

当第2四半期実績

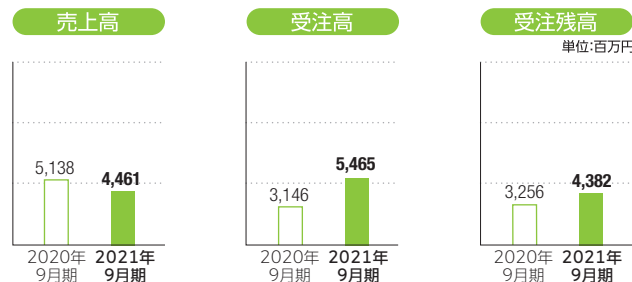
半導体関連生産設備事業は、第5世代移動通信システム（5G）の本格化や在宅勤務の普及などを背景とした半導体需要の高まりに伴い、半導体メーカーによる積極的な設備投資がおこなわれたことで、シリコンウェーハ搬送設備などの売上高が堅調に推移しました。一方、有機エレクトロルミネッセンス（有機EL）関連の売上高は高水準であった前年同期と比べると大きく減少しました。この結果、売上高は138億53百万円（前年同期は166億円）となりました。

家電関連およびその他生産設備事業

家電関連分野では、掃除機の部品などの自動組立設備、その他生産設備分野では、タイヤ生産設備、自動倉庫システムなどを製造・販売



売上高 **44** 億円 対前年同期比 増減率 —



※「収益認識に関する会計基準」等の適用により、対前年同期比増減率は記載しておりません。

当第2四半期実績

家電関連およびその他生産設備事業は、白物家電生産設備の売上高は堅調に推移しましたが、タイヤ関連の設備投資が一巡したことで、売上高は前年同期を下回りました。この結果、売上高は44億61百万円（前年同期は51億38百万円）となりました。

■ 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2021年9月30日)
【資産の部】		
流動資産	61,251	63,590
固定資産	31,543	31,614
有形固定資産	23,539	23,350
無形固定資産	496	523
投資その他の資産	7,507	7,740
資産合計	92,794	95,204

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2021年9月30日)
【負債・純資産の部】		
流動負債	25,935	27,748
固定負債	14,860	13,471
負債合計	40,795	41,219
純資産合計	51,999	53,984
負債純資産合計	92,794	95,204

■ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

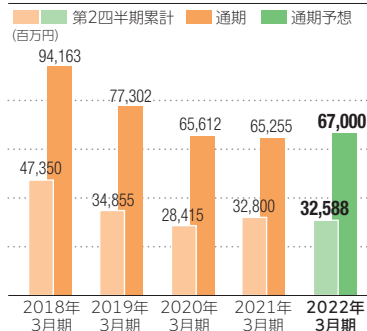
科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	32,800	32,588
売上原価	25,901	26,102
売上総利益	6,899	6,486
販売費及び一般管理費	4,157	3,959
営業利益	2,741	2,527
営業外収益	151	374
営業外費用	51	91
経常利益	2,841	2,810
特別利益	0	26
特別損失	6	22
税金等調整前四半期 純利益	2,834	2,814
法人税等	1,063	816
四半期純利益	1,770	1,998
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 10	14
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,781	1,983

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

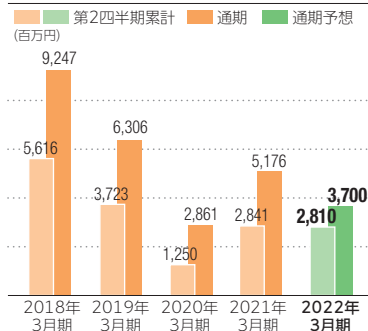
(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 4,448	1,593
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,955	△ 314
財務活動による キャッシュ・フロー	6,239	△ 835
現金及び現金同等物 に係る換算差額	△ 162	411
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 326	854
現金及び現金同等物の 期首残高	10,972	12,685
現金及び現金同等物の 四半期末残高	10,645	13,540

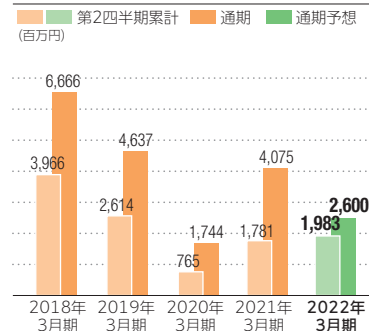
●売上高



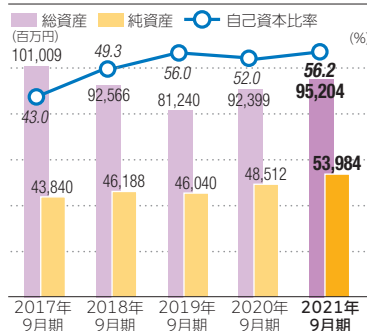
●経常利益



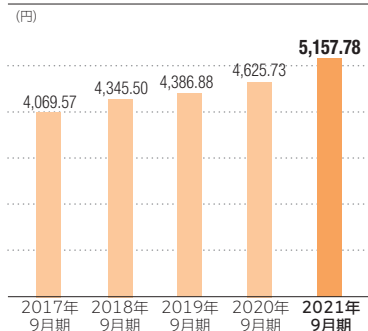
●親会社株主に帰属する四半期純利益



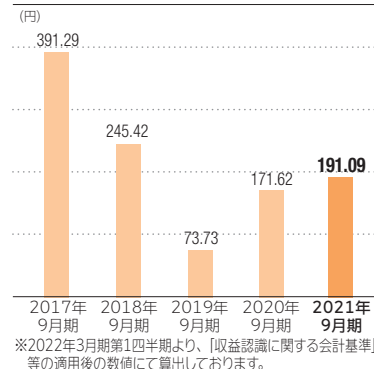
●総資産／純資産



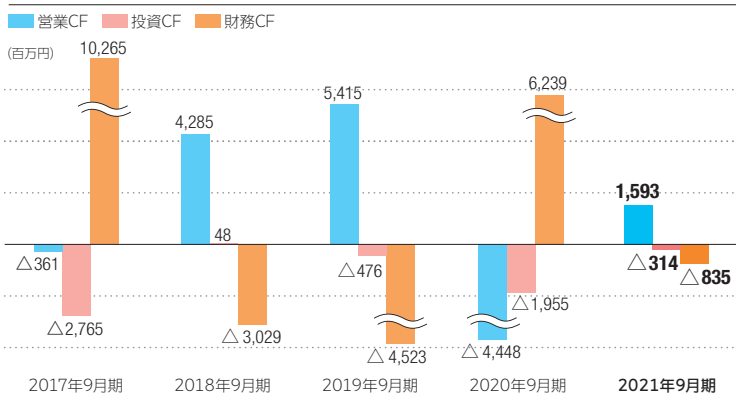
●1株当たり純資産額



●1株当たり四半期純利益



●キャッシュ・フロー

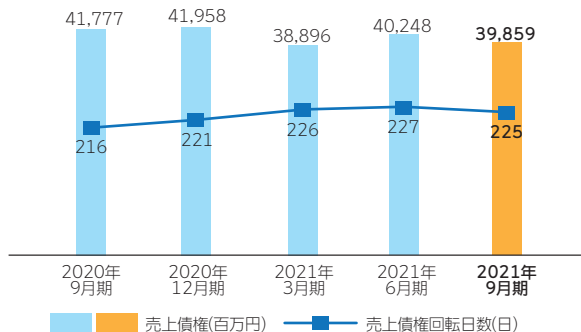


さらに詳しい財務データは、
当社ホームページの「IRライブラリー」をご覧ください。

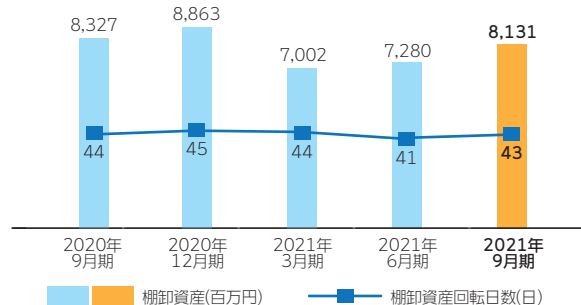
平田機工 IRライブラリー
 <https://www.hirata.co.jp/ir/library/>



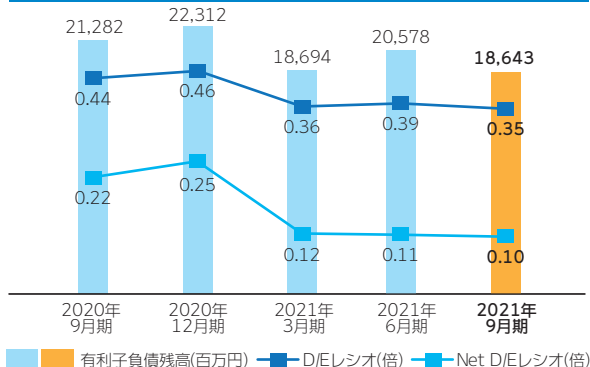
売上債権・売上債権回転日数



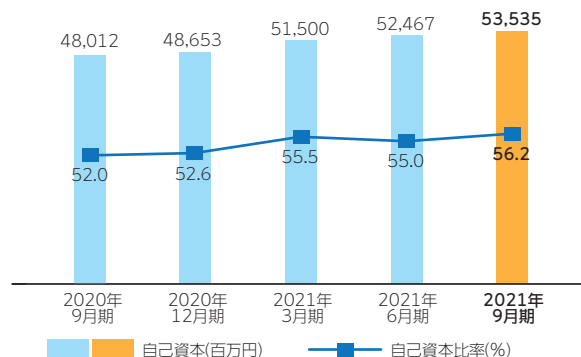
棚卸資産・棚卸資産回転日数



有利子負債残高・D/Eレシオ・Net D/Eレシオ



自己資本・自己資本比率



※売上債権回転日数、棚卸資産回転日数については、各四半期毎の期中平均値にて算出しております。
 ※2022年3月期第1四半期より、「収益認識に関する会計基準」等の適用後の数値にて算出しております。

配当予想について

当社は、株主に対する利益還元を経営上の最重要課題の一つと考え、財務体質の強化を図りつつ、連結業績や今後の事業展開などを勘案しながら、連結配当性向20%以上を概ねの目安とし、安定的・継続的に行うよう努めています。

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期予想
1株当たり配当金(円)	125.00 うち記念配当25.00	125.00	40.00	65.00	55.00
配当性向(%)	19.5	28.4	23.8	16.6	22.0

※配当性向は連結ベースです。

会社概要 (2021年9月30日現在)

会社名 平田機工株式会社
会社設立 1951年12月29日
資本金 2,633百万円
従業員数 2,414名(連結)
事業内容 各種生産システム、産業用ロボットおよび物流関連機器等の製造ならびに販売
本社所在地 熊本県熊本市北区植木町一木111番地

役員
 代表取締役社長 平田 雄一郎
 取締役専務執行役員 本郷 仁基
 取締役専務執行役員 黒田 健治
 取締役常務執行役員CTO 平賀 靖英
 取締役常務執行役員 平田 正治郎
 取締役常務執行役員 藤本 靖博
 社外取締役 雀部 博之
 社外取締役 鳴沢 隆
 社外取締役 小川 暁
 社外取締役 笹本 和夫
 常勤監査役 元田 直邦
 監査役 鳥巢 宣明
 監査役 今村 憲
 監査役 遠藤 恭彦
 執行役員 谷口 敬隆
 執行役員 前田 繁
 執行役員 小泉 正弘
 執行役員 平川 武則
 執行役員 首藤 道信
 執行役員 西村 茂春
 執行役員 戸田 和博
 執行役員 松崎 敏行
 執行役員 小崎 勝

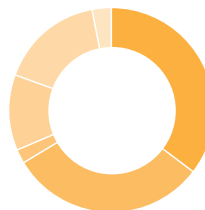
株式の状況 (2021年9月30日現在)

発行可能株式総数 37,000,000株
発行済株式総数 10,756,090株
株主数 7,506名
大株主の状況

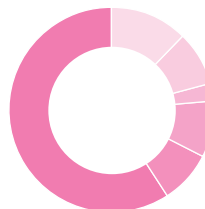
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,128,200	10.80
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	529,200	5.07
SMC株式会社	500,000	4.79
株式会社肥後銀行	456,000	4.37
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505025	455,400	4.36
みずほ信託銀行株式会社(信託口)0700096	400,000	3.83
平田 雄一郎	291,600	2.79
平田機工社員持株会	276,510	2.65
ニッコンホールディングス株式会社	272,400	2.61
山洋電気株式会社	192,900	1.85

上記のほか、当社が保有している自己株式が311,911株あります。持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



株主メモおよび株主優待制度

株主メモ(株式のご案内)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
配当金受領日 株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 ※期末配当のみとさせていただきます。	同事務取扱場所	〈郵便物送付先〉 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〈電話照会先〉 0120-782-031(フリーダイヤル)
定時株主総会	毎年6月開催	公告方法	当社のホームページに掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告します。
単元株式数	100株		
証券コード	6258		
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部		

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

株主優待制度

【対象株主】 毎年、3月31日現在の当社株主名簿に記録された当社株式1単元(100株)以上を保有する株主様

【優待内容】

クオ・カードもしくは寄付

以下①②のいずれかを選択していただけます。

- ①熊本城災害復旧支援金(6円)付きクオ・カード3,000円分
※3,000円分全額使用できます。
- ②熊本城災害復旧支援金として熊本市に3,000円を寄付
※名義は「平田機工株式会社(株主寄付口)」となります。



©2010 熊本県くまモン#K1761

【贈呈時期】 クオ・カードご希望の株主様への発送は、8月上旬を予定

※2021年3月末現在の株主様へのクオ・カード発送は、2021年8月に終了しております。

平田機工株式会社

本 社

〒861-0198 熊本県熊本市北区植木町一木111番地
TEL:096-272-0555 FAX:096-272-7901

●IR情報に関するお問い合わせ先
平田機工株式会社
管理本部 IR・広報部

TEL 096-272-5558

FAX 096-272-3618

E-mail hirata_info@hirata.co.jp